

長研だより

No. 5

発行日

平成29年11月17日

「長研ゼミナール」 渡邊情報教育課長講話



11月16日（木）、2週間ぶりに長研ゼミナールを実施しました。講師は、情報教育課の渡邊課長でした。講義タイトルは、「知の広がりは無限…子どもたち一人一人に学びの灯火を！」で、渡邊課長が出会った素晴らしい子どもたちの話からICT活用教育について、そして、長期研修生に期待することとして、動画でのメッセージを贈りました。講話後、長期研修生は、「子どもたちに愛情を注ぎ、それぞれの可能性を最大限に引き出していきたい。」と話していました。

～3か月生現地研修終了、6か月生は1月まで…～

11月14日（火）が3か月生の現地研修最終日でした。がらがらで寂しかった研修室が、久しぶりに密度が高まり、温かく明るい雰囲気に戻りました。

それでも、パソコンに向かう時は真剣な表情です。研究内容検討会に向けた資料作成に熱心に取り組んでいます。長期研修生は、子供達のノートの記録を基に分析したり、授業記録をまとめたりと、目指す児童・生徒の姿に照らし合わせながら研究の成果を確認しています。授業後の児童・生徒の変容から、研究の手応えを感じ取っているようです。

少し遅れて現地研修をスタートした6か月生は、1月後半まで現地研修が続きます。

～昼休みは健康増進のために散歩へ～



センター周辺は秋が深まり、木々が赤や黄色に色づいています。晴れた日の昼休みは、長期研修生も積極的に散歩に出かけています。散歩は、昼食を取る前と昼食後に歩く二つのグループに分かれており、競歩並のスピードで歩く長期研修生がいると話題になっています。全員がそろって散歩に出かける日もあると長研日誌に書かれることもあり、積極的に健康管理に努める様子が分かります。



～朝の会は心に残る曲の紹介～



心に残る本の紹介に続いて、朝の会の3周目のスピーチのテーマは、「心に残る曲」の紹介です。人生の岐路に聴いていた曲、部活動の試合前に勝利を願って聴く曲、児童・生徒との思い出の曲など、選曲理由は様々ですが、発表する長期研修生一人一人の思いに共感しながらスピーチを聞く様子が、とても良い雰囲気です。気持ちの良い1日のスタートを切っています。軽快な音楽が紹介されることもあり、朝の会終了と同時に、集中して研究に向かう長期研修生も少なくありません。